



全国大会・東北指導会出場隊

〔全国大会〕 ◇陸上の部

種 目 名	消防本部名	隊員 (チーム) 名
ロープブリッジ渡過	男 鹿 地 区	遠 藤 直
はしご登はん	由 利 本 荘 市	熊 谷 雄 太
ほふく救出	鹿 角 広 域	湯 沢 健 太 チーム
ロープ応用登はん	大 曲 仙 北 広 域	藤 井 元 規 チーム

〔東北指導会〕 ◇陸上の部

種 目 名	消防本部名	チ ャ ム 名
引 揚 救 助	秋 田 市	加 藤 大 地 チーム
	北 秋 田 市	神 成 雄 介 チーム
	大 曲 仙 北 広 域	高 橋 奎 人 チーム
ロープブリッジ救出	大 曲 仙 北 広 域	山 手 恵 太 郎 チーム
	鹿 角 広 域	小 舘 拓 チーム
	横 手 市	仙 北 谷 将 平 チーム
障 害 突 破	秋 田 市	高 橋 戒 チーム
	横 手 市	鈴 木 慎 チーム

◇水上の部

種 目 名	消防本部名	隊員 (チーム) 名
複 合 検 索	秋 田 市	鎌 田 晃 遥
	男 鹿 地 区	木 村 拳 翔
基 本 泳 法	大 曲 仙 北 広 域	安 藤 海
	北 秋 田 市	石 川 功 太
	大 曲 仙 北 広 域	佐々木 巖
	大 曲 仙 北 広 域	高 橋 陽
溺 者 搬 送	男 鹿 地 区	北 條 大 紀 チーム
人 命 救 助	横 手 市	佐 藤 恵 太 郎 チーム
溺 者 救 助	大 曲 仙 北 広 域	石 橋 瑞 翔 チーム
水 中 結 索	能 代 山 本 広 域	金 平 健 太 チーム

第53回
消防救助技術秋田県大会
秋田県消防長会

第53回消防救助技術秋田県大会 (秋田県消防長会主催) が6月26日及び7月1日の両日開催され、出場隊員は日頃鍛えた救助技術を競いました。

6月26日秋田県立総合プール (秋田市向浜) で開催された「水上の部」には9消防本部から32人が、7月1日秋田県消防学校で開催された「陸上の部」には、13消防本部から200人が出場しました。

「陸上の部」開会式で、能代山本店 城市町村圏組合消防本部佐藤雄司消

木市で開催されます。

むことを誓います。」と宣誓しました。

競技の結果、全国大会・東北指導会への出場隊は、別紙のとおり決定しました。東北指導会は7月に新潟市 (水上の部) と仙台市 (陸上の部) で、全国大会は8月に兵庫県三



題 字
初代会長 松野盛吉

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubaraainsatsu.co.jp>

防司令補が「我々隊員一同は、救助技術の向上と安全を最優先に、ともに汗した仲間や、支えてくれた家族への感謝を忘れず、地域住民の命を守る絶対的な力となるよう、本大会に全力で臨むことを誓います。」と宣誓しました。



第76回 秋田県消防大会

＝大館北秋田支部＝

第76回秋田県消防大会が、7月12日(土)、ほくしか鹿鳴ホール(大館市)において、富樫博之総務副大臣など多くの来賓を迎え、県内各地域から消防職・団員約600名が参加して行われました。

令和7年度消防功労者表彰では、社会福祉法人大館圏域ふくし会、三菱マテリアル電子化成(株)が優良事業所として知事表彰を受賞しました。第19回消防団員意見発表会では、県北3支部から選出された3名が、活動で得た意見を発表しました。



続いて、盛岡ターミナルビル(株)中村義昭氏が、消防隊員として活動した経験を踏まえて実践している安全管理や接遇対応について講演しました。

その後のアトラクションでは、国重要無形民俗文化財に指定されている根子番楽が出演し、静かなリズムの古典的舞いとリズムミカルな囃子にあわせて舞う武士舞いが披露されました。

令和8年度は、湯沢市雄勝郡支部の主催で開催されます。



富樫博之総務副大臣の祝辞

令和7年度 消防功労者表彰

■優良事業所表彰

優良事業所表彰は平成9年から実施され、受賞事業所は今年度で162事業所となりました。

表彰された事業所は相当数の消防団員が在職し、地域の消防活動に積極的に取り組んでいるなど、多年にわたって地域の消防団活動に貢献してきたことが評価されたものです。

受賞された事業所には、今後ますますの消防団活動へのご協力をお願いします。

■受賞事業所の概要

社会福祉法人大館圏域ふくし会

大館市泉町9番19号

理事長 畠 澤 政 一

障害者支援施設及び特別養護老人ホームの経営

事業所人員434名中消防団員10名

三菱マテリアル電子化成(株)

秋田市茨島三丁目1番6号

取締役社長 西 中 啓 二

総合素材メーカー

事業所人員322名中消防団員8名



受賞事業所の皆さん

第19回消防団員意見発表会

この意見発表会は、消防団員が日頃の活動で考えたことや経験した事例などの発表を通じ、消防団活動のあるべき姿や消防人としての役割を再認識し、これからの活動をより充実したものにすることを目的に、平成17年度から実施しています。

■発表者とテーマ

「消防団員として」

上小阿仁村消防団 鈴木 誠 幸

「消防団の魅力発信を考える」

能代市消防団 畠 山 英 明

「消防団組織の今後に望むこと」

鹿角市消防団 田 中 豊

講 演

「東日本大震災における

消防隊の活動から」

現場活動と安全管理・接遇対応、

盛岡ターミナルビル(株)

保安防災対策部防災担当次長

(前盛岡中央消防署長)

中 村 義 昭 氏



田 中 豊 さん



畠 山 英 明 さん



鈴 木 誠 幸 さん

■講演の概要

私は盛岡地区広域消防に43年間勤務し、そのうち20年を救急隊で活動した。その間体験した中で、東日本大震災は特に大きな出来事だった。

地震発生後、盛岡西消防署高度救助隊長として宮古市に派遣され、壊滅的な状況下で救助活動を行った。

この地震で、同市の消防職員で消防学校時代の教え子が殉職した。停電に窮した在宅酸素療法の患者を搬送する時に津波に襲われたのだ。絶対に殉職してはならないと教えていたので、いまだに心が痛む。

町内会や自主防災組織で講演する時、自助、共助、公助の話をする。自分のことは自分で守るのが自助。避難用グッズ、食料、水、常備薬などを準備しておけば、共助する側に回ることができる。共助が機能するためには、地域コミュニティで顔の見える関係を作っておくことが大事だ。

次に安全管理について。

消防団員の中には、火災現場で、いまだに半纏、保安帽で活動している人がある。安全に対する意識の低さを痛感する。このため、盛岡市消防団では、団員に対して安全装備の重要性を指導しているほか、出動後の活動報告会を行っている。

北秋田市消防団が策定した「安全

管理マニュアル」が優れているので参考にしてほしい。

次に接遇について。

盛岡市の消防演習の部隊訓練で一斉放水した時に、団員が住民に対してぞんざいな発言をして苦情がきたり、ぼや騒ぎで出動した消防職員の横柄な振る舞いに投書がきたことがあった。こうした1人の軽率な行動が、消防全体のイメージを落とすことに繋がるので影響が大きい。

住民の安全安心な暮らしを守るため活動しているのだから、住民から信頼される消防団であることが不可欠。接遇の基本原則(あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、表情)を忘れないでほしい。



中 村 義 昭 氏

アトラクション 根子番楽

番楽は、山伏神楽の一種で、かつて修験道の山伏たちによって行われていた神楽です。当地の伝説では、源氏の遺臣あるいは平家の落人が根子村に移り住んで番楽が行われるようになったといわれています。



秋田県消防協会感謝状贈呈

前理事で前上小阿仁村消防団団長の武石聡さんの長年にわたる協会役員としての功績に対し、感謝状が贈呈されました。



第79期
初任教実務研修を
終えて

秋田県消防学校

小野垣 蒼太
(秋田市消防本部)

私は、7月3日から4日にかけて秋田市城東消防署で実務研修を行った。初めての泊まり勤務ということもあり、不安を感じながらの研修だった。

午前中は、8時半の勤務交代から無線や車輛、資器材の点検を行い、折り島田や二股分岐を使つてのホース延長、ガンタイプノズルでの放水訓練を行った。消防学校で使っている資器材とは違い、戸惑いつつも、使いやすさを実感した。

午後は、ホースバックやホースカールを用いてホースを延ばしていく訓練を行った。スムーズにできなかったもので、実際に現場に行くまでに訓練を重ねたい。

呼称をしつかり言うことや、声があまり出ていなかった点は、現場を想定して改善していきたい。

今回の研修で、泊まり勤務における1日の流れを掴むことができ、良い経験となった。

須藤 大徳
(秋田市消防本部)

実務研修を終えて感じたことは、基本の考え方の大切さを再認識したこと、常に災害対応を考える緊張感の中で仕事をする大変さである。

今回行った訓練は主に二つあった。まず、結索訓練では、基本結索の結び方を確認した。基本的な結び方に加え、反対側や裏側から結ぶなど、パターンを変えて行った。やることは基本と変わらないという意識を持つて取り組んだ。

次は、三連梯子訓練で、作業姿勢や開口部への進入を行った。初めての訓練だったが、自分が何をしているかを声に出して他の隊員に伝えることを意識して取り組むことができた。

訓練中、上司から「安全の次に確実があり、その次に迅速がある」という言葉をいただいた。これまでも意識していたが、慣れてきた頃に早さを求め動作が雑になったことがあった。現場では、早くても使い物にならないと無意味なので、日々の訓練で技術を確実にしたいと思った。

今回の研修で得た知識と技術をさらに磨いて、自分の武器として生かしていきたい。

伊藤 祐人
(大館市消防本部)

大館市消防では、折り島田の作り方やホースカール、ホースバックの延長要領、ホースバック延長後の放水訓練を行いました。1時間ほどの訓練中は防火衣と防火帽を着装していたため汗が止まらず、息苦しさを感じました。しかし、実際の火災現場では常に着装しているし、火はもっと熱いです。この程度で苦しんでいる自分が軟弱で悔しかったです。

夕方以降は、日中とは打って変わって皆さんが事務作業に従事していました。日中の訓練でも感じましたが、先輩方の強さを改めて気づかされました。暑い中でも疲れを感じさせない動きや、筋トレで扱う重量など、自分がまだまだ未熟であることが痛感しました。

朝は車輛を洗車しました。街中を走る消防車を常に綺麗に保つ気遣いにさすがだと感じました。

様々なことに気づいた研修でしたが、特に大館市消防の全員がとても仲が良く、雰囲気もいいことに改めて気づき、早く所属で働きたいと思いました。そのためにも、さらに体力や忍耐力を鍛え、早く現場で活躍できるように精進します。

河田 優斗
(北秋田市消防本部)

初めての実務研修は緊張しましたが、始まると時間があっという間に過ぎていきました。午前に分署へ挨拶回り、午後は訓練を実施しました。午前中は、4人で3つの分署を回りました。

どの分署でも明るく親切に接していただきました。新しい分署は当然きれいでしたが、建てられてから時間が経っている署もきれいに掃除がされていて、感心しました。

午後は放水訓練と三連梯子の訓練を行いました。

放水訓練では、学校で使用している筒先ではなくガンタイプノズルを使用したので比較的簡単に感じました。また、泡を使った放水も行いました。学校でも行ったことがない貴重な訓練を体験できました。三連梯子では進入までは行いませんでした。が、架梯までの訓練を行いました。

夜は、先輩と筋トレやランニングをしました。夜11時半には就寝するという一日の流れを体験し、いっどんなことをしているかや署の雰囲気を知ることができました。

次回は分署へ研修に行くので、挨拶を積極的に行いたいと思います。



小松田 一斗
(横手市消防本部)

実務研修は、24時間勤務を行う上で、とても良い経験になりました。朝、出勤してから、車輛点検、装備品点検を行いました。

午前は、折り島田とホースカーによる延長、放水訓練を行いました。折り島田で巻かれたホースを持って走り、放水までの一連の動作を行いましたがとても難しかったです。現場では、これをスピーディーに行う必要があるため、今後も訓練を重ね頑張っていきたいです。

午後は、結索訓練を行いました。今まで習った結索を全てホワイトボードに書き出し、順番に結索しました。応用的な結索を行った際は、頭をフル回転させて取り組みました。基本結索の後に応用結索を行い、とても勉強になりました。

また、夜間に救急指令が入ったとき、寝ていた隊員が瞬時に起きて出勤するところは、命を守るプロの姿であり尊敬の気持ちがかみ上げてきました。

もう一回研修があるので、その時は、今回教わったことを踏まえて、率先して動けるようにしたいと思いました。



安田 透矢
(大曲仙北広域市町村圏組合消防本部)

7月3日から4日に、大曲消防署で実務研修を行った。今回は、当直勤務だった。訓練をしたり、夕食を作ったりした。

午前の訓練では、ホースバックの取り扱いを行い、午後の訓練では、ホースカーの出し入れとホース延長、放水訓練を行った。消防学校では、ホースバックとホースカーを使ったことがなかったので、非常に有意義な訓練だった。放水訓練では、ガンタイプノズルを使用したのが、水圧が強く体が押された。この訓練では、2人が重なって活動しないように、お互いの動きを把握することの大切さを実感した。

夕食はカレーライスを作った。職員の方と準備、調理を行った。他の職員にも食べて頂くので、清潔には気を配り、丁寧に食材を切り愛情を込めて行った。

救急や予防業務では、今後必要となる基礎知識を学ぶことができた。

今回の研修では、消防学校で学んだことが実際に生かされていると感じることが多かった。今後も知識と技術の習得に励み、必要とされる職員になれるよう努力したい。



餅田 一馬
(湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部)

今回の実務研修を通じて、一日勤務の大変さを身をもって実感することができました。初めて聞く内容も多くありましたが、上司の方々が丁寧に指導してくださり、おかげでも濃密な時間となりました。

印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、職員一人ひとりの行動の早さです。訓練にしても事務作業にしても、すべての行動が早く無駄な時間がないように感じました。このように、日頃から時間を意識して取り組む姿勢が習慣化されているからこそ、現場の出勤にも生かされていると思いました。自分も見習っていききたいと思います。

二つ目は、夜のトレーニングや救助大会の練習をしていたことです。何歳になっても変わらず自己研鑽する姿勢は、自分にとっても良い刺激となり、もっと頑張ろうという気持ちになりました。

消防学校の残り時間は、あと2ヶ月。卒業後に即戦力となれるよう、実務研修で学んだこと、印象に残った二つのことを意識して、取り組んでいきたいと思います。



令和 7 年度消防団員数の概要

令和 7 年 4 月 1 日現在の消防団員数(速報値)の概要は次のとおりです。(秋田県総合防災課消防保安室調査)

1. 消防団員数は 13,536 人

消防団員数は減少傾向が続いており、前年比505人減の13,536人となりました。

条例定数充足率は79.2%、被雇用者率(サラリーマン化率)は77.9%となっています。(単位:人、%)

	R 2. 4. 1	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1
消防団員数	15,894	15,473	15,131	14,546	14,041	13,536
前年同期比	△ 381	△ 421	△ 342	△ 585	△ 505	△ 505
条例定数充足率	85.9	84.8	84.5	83.4	81.2	79.2

2. 女性消防団員は 4 人減の 455 人

女性消防団員は年々増加してきましたが、昨年度減少に転じ今年度も前年比 4 人減の 455 人となりました。

(単位:人、団)

	R 2. 4. 1	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1
女性消防団員数	415	429	467	468	459	455
前年同期比	25	14	38	1	△ 9	△ 4
女性団員採用消防団数	21	20	21	21	21	21

3. 機能別団員は 21 消防団、1,445 人

機能別団員制度が県内に導入された平成19年度以降、団員数は年々増加しており、前年比79人増の1,445人となりました。

(単位:人、団)

	R 2. 4. 1	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1
機能別団員数	1,045	1,163	1,278	1,315	1,366	1,445
前年同期比	228	118	115	37	51	79
機能別団員制度導入消防団数	18	19	20	20	20	21



消防団員募集

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。



消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員の減少で、地域防災力の低下が懸念

本県の消防団員数は、昭和31年には3万6千人が在籍していましたが、年々減少し続け、令和7年4月1日現在では、4割を下回る

1万3,536人となりました。

地域の消防防災力の低下が懸念されています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。

一人でも多くの方に、消防団活動に参加いただけることを期待しています。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンバイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

令和 7 年度消防団員数 (令和 7 年 4 月 1 日現在)

(単位 : 人、%)

地域名	消防団名	条例 定数	実 団 員 数				定 数 充足率	女 性 団員率	前年比較	
			総数	男性	女性	うち 機能別 団員数			団員数	増減数
鹿 角	鹿角市	820	669	642	27	68	81.6	4.0	721	△ 52
	小坂町	150	96	91	5	0	64.0	5.2	103	△ 7
	地域計	970	765	733	32	68	78.9	4.2	824	△ 59
北秋田	大館市	980	778	719	59	29	79.4	7.6	816	△ 38
	北秋田市	670	519	501	18	18	77.5	3.5	552	△ 33
	上小阿仁村	100	64	64	0	2	64.0	0.0	68	△ 4
	地域計	1,750	1,361	1,284	77	49	77.8	5.7	1,436	△ 75
山 本	能代市	745	575	516	59	164	77.2	10.3	600	△ 25
	藤里町	125	111	111	0	15	88.8	0.0	98	13
	三種町	507	390	381	9	78	76.9	2.3	398	△ 8
	八峰町	330	237	231	6	34	71.8	2.5	237	0
	地域計	1,707	1,313	1,239	74	291	76.9	5.6	1,333	△ 20
南秋田	男鹿市	820	686	666	20	121	83.7	2.9	704	△ 18
	潟上市	473	407	391	16	25	86.0	3.9	405	2
	五城目町	205	138	132	6	41	67.3	4.3	143	△ 5
	八郎潟町	75	54	54	0	0	72.0	0.0	59	△ 5
	井川町	145	101	96	5	6	69.7	5.0	104	△ 3
	大潟村	67	44	44	0	11	65.7	0.0	46	△ 2
	地域計	1,785	1,430	1,383	47	204	80.1	3.3	1,461	△ 31
秋 田	秋田市	2,100	1,483	1,440	43	142	70.6	2.9	1,521	△ 38
由 利	由利本荘市	1,524	1,320	1,297	23	189	86.6	1.7	1,369	△ 49
	にかほ市	460	421	411	10	67	91.5	2.4	419	2
	地域計	1,984	1,741	1,708	33	256	87.8	1.9	1,788	△ 47
仙 北	大仙市	1,375	971	917	54	86	70.6	5.6	1,009	△ 38
	仙北市	630	410	391	19	14	65.1	4.6	438	△ 28
	美郷町	360	287	286	1	27	79.7	0.3	291	△ 4
	地域計	2,365	1,668	1,594	74	127	70.5	4.4	1,738	△ 70
横 手	横手市	2,200	1,942	1,913	29	228	88.3	1.5	2,052	△ 110
雄 勝	湯沢市	1,555	1,332	1,303	29	80	85.7	2.2	1,378	△ 46
	羽後町	467	351	344	7	0	75.2	2.0	358	△ 7
	東成瀬村	200	150	140	10	0	75.0	6.7	152	△ 2
	地域計	2,222	1,833	1,787	46	80	82.5	2.5	1,888	△ 55
計	25消防団	17,083	13,536	13,081	455	1,445	79.2	3.4	14,041	△ 505

支部情報アラカルト

■支部幹部研修を実施

令和7年7月11日(金)、能代市工ナジウムパークにて、支部の幹部研修を行いました。(株)丸紅の社員から洋上風力発電建設について説明を受けた後、実際に洋上風力発電を視察しました。洋上のメリットとしては、風況が安定していること、大型発電機の導入が容易であることとのことでした。

由利本荘市沖でも、大規模な洋上風力発電プロジェクトが進められており、今回の研修で風力発電についての教養を深めることができたのは、大変有意義だったと思います。



■秋田海上保安部、消防本部と合同訓練を実施

令和7年7月15日(火)、第59回海難救助訓練大会が本荘マリナで開催されました。その際、船舶火災を想定した合同訓練を実施。由利本荘市消防団も参加しました。

海上保安部と連携して訓練する機会にはほばないので、よい経験になりました。また、海水を使用する火災防ぎも普段の火災現場、訓練では実施することがなく、使用後のメンテナンスも含め、団員にとって貴重な訓練になったと思います。

今後も常備消防はもとより、関係機関と連携して積極的に訓練等を実施していきたいと考えております。



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和7年		令和6年			同期比較	
	7月	累計	7月	累計	年計	7月	累計
建物	5	104	9	108	178	- 4	- 4
林野	1	5	0	25	25	1	-20
車 輛	2	20	2	20	31	0	0
その他	15	36	3	92	115	12	-56
合 計	23	165	14	245	349	9	-80
死者数	0	11	2	15	28	- 2	- 4
負傷者数	1	36	1	51	71	0	-15

〔情報提供〕由利本荘にかほ支部



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社

能代消防センター
協 立

株式会社

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57

TEL (0185) (52) 6494

(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防 災 事 業 部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311